



志布志市立原田小学校 学校だより

原田の風

令和 7 年度 12 月号
令和 7 年 12 月 23 日
発行



ホーム
ページ
更新中

「人から人へ 胸から胸へ」

校長 伊藤 啓博

最近のテレビ・新聞等で報道される相手のことを全く考えていない、巧妙化した自己中心的な事件や犯罪を見たり聞いたりすると、心が痛くなり、また、子供たちの将来はどうなるのだろうか、という不安に駆られます。時代の流れの中で、子供たちを取り巻く環境も急激に変化しています。私たち大人が、常に考えを上書きしていかなければならないことが多々あることも、事実です。しかし、昔と変わらない子育ての原則があることも確かです。「子どもを伸ばす魔法の 11 カ条 アメリカインディアン人の教え」(加藤諦三 著 2020 年)の中に次のようなものがあります。

- 心が寛大な人の中で育った子は、がまん強くなります。
- はげましを受けて育った子は、自信を持ちます。
- ほめられる中で育った子は、いつも感謝することを知ります。
- 公明正大な中で育った子は、正義心を持ちます。
- 思いやりのある中で育った子は、信じる心を持ちます。
- 人に認めてもらえる中で育った子は、自分を大事にします。
- 仲間の愛の中で育った子は、世界に愛を見つけます。

こんな言葉に出会うと私たち教師や親は、自分たちの子育てを客観的に見ることができます。時代は変わって場所が変わっても、人の心のありようは同じものを求め続けている気がします。

もう一つ紹介させてください。こころの処方箋(河合隼雄 著 1998 年)より

心のこもっていない正論よりも、心がこもったバカな一言の方が嬉しい。(中略) 誰が言うか、誰に言うか、どこで、どんなタイミングで、抑揚、間の取り方、語気の強さ…生きた言葉は誰にも真似できない。本人にも再現できない。(中略) 生の声、直接届ける言葉に勝るものはない。どんなに機械、ロボットが発達しても、本当に大切なことは、人から人へ、胸から胸へ、でしか伝わらない。「劇薬」と言われるような「真実」の言葉は、相手の心にピンポイントでしか効かない。肉体の病には「万能薬」など無いように、心の処方箋にも、どんな場合にも効く言葉、フレーズなんてあり得ない。

だからこそ、いろんな言葉、表現を知っておきたいものです。常備薬も、頓服薬も、劇薬も、心を癒やす薬も。

今年も残りわずかとなりました。地域や保護者の皆様のおかげで、今年も無事に終えることができそうです。年の瀬を迎え、あわただしくなり交通量も多くなることが予想されます。子供たちには、交通安全に十分気を付けてほしいと願っています。特に飛び出しをしないこと、ヘルメットを着用した自転車運転等です。日々の安全に気を付け、お正月は、親戚の方々とも交流を深めるよい機会です。十分に親睦を図っていただけたらと思います。お年玉の使い方等についても家族で確認して、有効利用してください。

令和 7 年も原田小学校への御理解御協力、本当にありがとうございました。健康に十分留意されて今年を締めくくり、よいお年をお迎えください。令和 8 年もどうぞよろしくお願いいたします。

様々な人のおかげでわたしたちの食は安全なんだね

社会科の学習で農業や工業について学んだ 5 年生。11 月 28 日金曜日、社会科見学に出かけました。出かけた先は、南光志布志工場と志布志サイロです。

まず、南光志布志工場では、説明書きまで手書きだということ、1 つの部品だけなのにととても厳しく検査をしていることなどを学んだそうです。次に志布志サイロでは、世界各地からトウモロコシなどの穀物が送られてきているということ、それらを腐らないように工夫して保管していたこと、サイロには 131600 トンというものすごい量を保存していること、穀物を飼料工場で飼料にし、それらを豚や牛などのえさにしていることなどを学んだそうです。

社会科見学では教科書にないことを知ることができた、そして、サイロのおかげで豚や牛が育てられ自分たちの食生活に生かされていることを学んだ 5 年生。わたしたちは、様々な努力や人のかかわりのおかげで安全な食生活が送られていることを忘れないようにしましょう。



第 17 回志布志市小・中学校音楽発表会

11 月 28 日金曜日、第 17 回志布志市小・中学校音楽発表会が開催されました。本校からは 3・4 年生が出演しました。発表したのは、歌唱「とどけよう このゆめを」合奏「ギャラクシー 銀河を超えて」です。この日に向けて 3・4 年生は、9 月から音楽の時間を中心に練習を重ねてきました。全校児童の前でも練習の成果を披露し、音楽担当の友岡先生以外からもアドバイスをいただき、この日を迎えました。今まで聴いた中で、歌声がとても伸びやかで、合唱の拍子のとり方もとてもよかったです。毎時間、自分たちの歌声・合唱がどうだったか自分なりに振り返り、次に生かした結果でしょう。そして、鑑賞態度もどの学校よりもよかったそうです。それは、原田小どの学年にも言えることですが、全体で集合したときの態度が表れたのだと思います。

素敵な音楽発表会でした。



受賞
おめでとう

社会科作品コンクール

入選 5 年 N さん「戦争とくらしについて」
6 年 T さん「イタリアについて」

第 27 回南九州市かわなべ青の俳句大会 入選 4 年 K さん

『わかった』を『伝える』に

小学校では、普段から様々なことを学習します。その学習で積み上げてきたことを発表する原田っ子フェスタが、11月8日土曜日ありました。

1・2年生は、生活科発表『はらだパーク』です。生活科の学習でどんぐりやまつぼっくりを使ったおもちゃづくりをした1・2年生。一緒に秋を感じながら、作ったおもちゃで楽しんでもらえるように、精一杯おもてなしをしました。

3・4年生は『原田っ子環境会議』と題して、わたしたちにできることをエネルギーグループ・気候グループ・森グループ3つに分かれて発表を行いました。

5年生は『みんなで考えるSDGs』と題して、様々な教科で学んだSDGsのこと、そして、それが自分たちの身の回りにどのように関わっているのかを発表しました。

6年生は『SDGs 時空大冒険～ヒーローズ集結～』と題して、今の社会にある課題とそれを解決するために自分たちができることを、ヒーローに扮して発表しました。

全児童による歌唱もありました。『パプリカ』を披露。体育館に歌声がよく響き渡りました。

どの学年も、この日まで、一生懸命準備してきました。全家庭観に来てくださり、とてもにぎやかな発表になりました。地域の方々も観に来てくださいました。皆さん、ありがとうございました。観られることで、子どもたちの次の学びにもつながります。



1月の行事予定

8日(木)	3学期始業式	23日(金)	校内読書の日 がんがらちゃん 給食試食会(6年) 授業参観(5校時) 第2回学校保健委員会
13日(火)・14日(水)	鹿児島学力・学習状況調査(5年)		
15日(木)	子ほめの日		
19日(月)~23日(金)	学校給食週間		
19日(月)	英検 ESG (6年)	24日(土)	きらり輝く「しぶっ子」 育成講演会(市文化会館)
20日(火)	お茶とのふれあい事業(5・6年)		
22日(木)	宇都中学校入学説明会(6年)		

きれいになると気持ちがいい！！

学校がきれいだととても気持ちがいいですが、自分たちの学校周辺もきれいだと、もっと気持ちよくなります。今年度も「ゴミ0大作戦」と称し、12月4日木曜日に地域の清掃活動を行いました。1年生は校門付近、2・3年生は原田青少年館及びその周辺、4・5年生は森神社境内、6年生は歩道と様々な場所に分かれて30分間作業に取り組みました。

校門付近の落ち葉をほうきで一生懸命集めた1年生。側溝に落ちている落ち葉を手で拾い軍手や靴が濡れてしまった2・3年生。森神社の境内や階段の落ち葉を隈なく集めた4・5年生。道路脇の落ち葉を集めに集め何度も何度も落ち葉を積んだ一輪車を押して運んだ6年生。

普段と違う場所を掃除するということで、意欲も高まり、一生懸命作業に取り組んだ子どもたち。隅々まで掃除してくれたおかげで、学校周辺がとてもきれいになりました。普段の掃除は縦割りで行っている原田小。ゴミ0大作戦を機に、校内の清掃にも一層努めてくれると嬉しいです。



最後まであきらめず走りました

寒空の下、12月13日土曜日に校内持久走大会が行われました。この日のために、朝の体力づくりの時間や体育の時間に練習に取り組んできました。また、コースの下見や11月27日に試走も行い、本番に向けて調整してきました。

走る距離は、1・2年生1000m、3・4年生1500m、5・6年生2000mです。全員が完走を目指してスタートしました。沿道では多くの保護者や地域の方々が応援に駆けつけてくださいました。また、ゴール前では、子どもたちが大きな声で声援を送りました。応援を力に変え、試走以上に軽やかに走ることができました。2年生のMさんは、4分4秒と、これまでの記録を14秒縮める新記録でした。

3月にはミニオリンピックが開催されます。「心も体もたくましい原田っ子」を目指して、積極的に体力づくりに励み、元気に過ごせることを願っています。保健体育部の保護者の皆様、子どもたちの安全確認ありがとうございました。



今年も大変お世話になりました。良いお年をお迎えください。